

地震による 電気火災 を防ぐ！



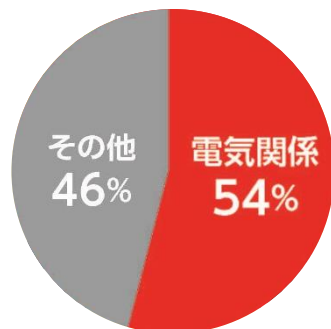
白山市感震ブレーカー 設置促進事業費補助金

感震ブレーカーとは？ なぜ必要？

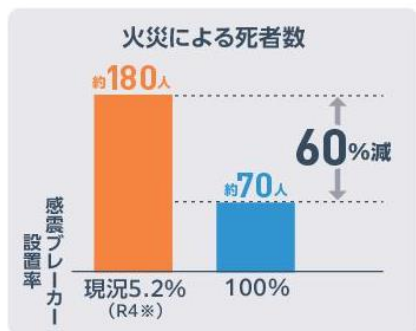
地震の揺れを感知した時に、自動的に電気を止める器具のことです。
東日本大震災における原因の分かる火災のうち、過半数が電気関係の
出火によるものでした。

(地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧した時に発生する火災など)

東日本大震災における本震による火災の原因



日本火災学会誌「2011年東日本大震災
火災等調査報告書」より作成



※「防災に関する世論調査」(内閣府)



石川県が令和7年5月に公表した地震被害想定調査結果では、全家庭に感震ブレーカーを設置した場合、火災による死者・全焼棟数が約6割低減する結果となっています。

感震ブレーカーを設置して、地震による電気火災を防ぎましょう！

補助対象者

石川県感震ブレーカー設置促進事業費補助金の交付を受けた方で、

- ① 市内の戸建て住宅・共同住宅・長屋に居住している方（それぞれ賃貸住宅を含む）
- ② 市内に賃貸住宅（戸建て住宅・共同住宅・長屋を含む）を所有している方（原則全戸に設置した場合に限る。）

※新築時の設置も対象

※町内会やマンション管理組合等による一括申請も可能



「問い合わせ」

白山市 危機管理部危機管理課

〒924-8688 石川県白山市倉光二丁目1番地

TEL: 076-274-9536 / E-mail: kikikanri@city.hakusan.lg.jp

白山市 HP→



感震ブレーカーの主な種類

分電盤タイプ(内蔵型)

分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。



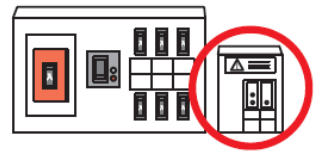
費用：約5～8万円(標準的なもの)
※電気工事が必要

分電盤タイプ(後付型)

分電盤に感震機能を外付けするタイプで、センサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。

※漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能

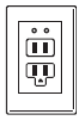
費用：約2万円
※電気工事が必要



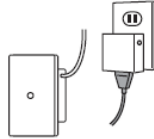
コンセントタイプ

コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断します。

(埋込型)
壁面などに取り付けて使うもの
※電気工事が必要



(タップ型)
既存のコンセントに差し込んで使うもの
※電気工事が不要



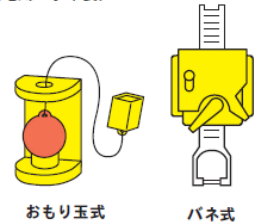
費用：約5千円～2万円程度

簡易タイプ

ばねの作動や重りの落下などによりブレーカーを切って電気を遮断します。

費用：約2～4千円程度

※ホームセンターや家電量販店で購入可能(電気工事不要)



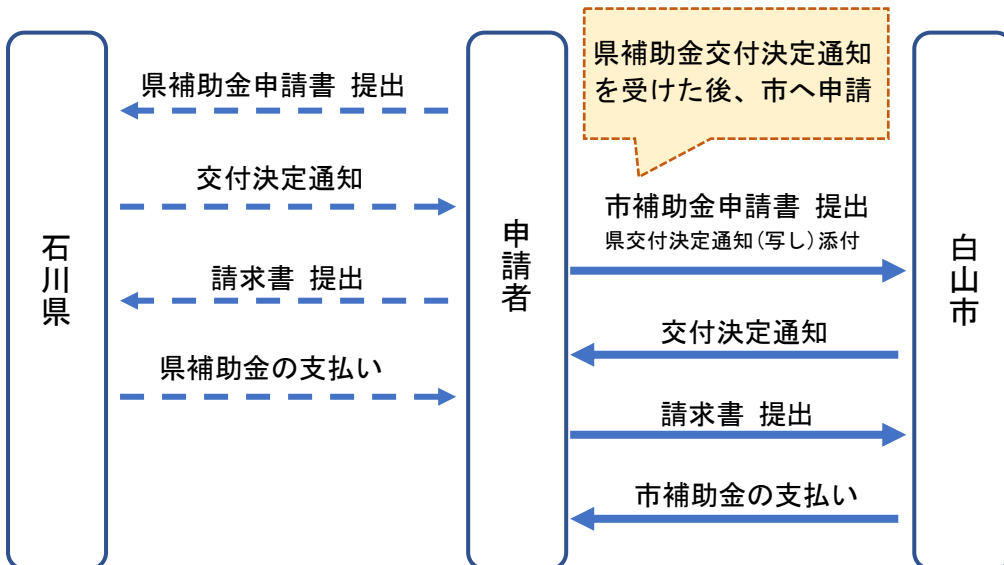
補助対象経費

感震ブレーカーの設置に要する経費(購入費・設置工事費)

種類	補助率	補助上限額	備考
分電盤タイプ (設置費・工事費)	購入・設置費用の 4分の1	15,000 円	「感震ブレーカー等の性能評価ガイドライン(内閣府)」に基づく、感震機能付住宅用分電盤認定制度の認証を受けたもの 
コンセント・簡易タイプ (購入費)		1,500 円	「感震ブレーカー等の性能評価ガイドライン(内閣府)」に基づく、消防防災製品等推奨制度の認証を受けたもの 

申請の流れ

感震ブレーカーを購入・設置後



【白山市提出書類】

- 申請書
- 県補助金交付決定通知書(写し)
- 請求書(要押印)
- 振込先が確認できる通帳又はキャッシュカード(写し)
※金融機関名、店舗名(店番号)、口座番号、口座名義人が確認できるもの
- マイナンバーカード(表面)や運転免許証等、申請者の住所等が確認できる書類の写し

石川県感震ブレーカー設置促進事業費補助金はこちらをご確認ください。

石川県 HP →

